

# AV ニュース エクスプレス

「2001 年教育映像祭優秀映像教材選奨」応募受付開始  
インテル—教員向け情報教育プログラムを無償で提供  
映画テレビ技術・Digital Production 2001  
NIME「教材研究セミナー—教育用マルチメディア・ソフトの最前線—」開催  
日本教育工学会「2001 年度シンポジウム」を開催

## 協会情報

### ■「2001 年教育映像祭優秀映像教材選奨」応募受付開始

協会主催による標記選奨は、「教育に利用される映画、ビデオ、スライド、コンピュータソフトウェア（CD-ROM）等、映像教材の制作と利用の向上進展を図る」ことを目的に、次の要領で開催される。

#### 1・参加部門

映画の部 = 学校教育部門（小学校・幼稚園を含む、中学校、高等学校）、社会教育部門（家庭生活、市民生活）、職業教育部門、児童劇・動画部門、教養部門

ビデオの部（スライドを含む）= 学校教育部門（小学校・幼稚園を含む、中学校、高等学校）、社会教育部門（家庭生活、市民生活）、職業教育部門、教養部門  
コンピュータソフトウェア

（CD-ROM）の部 = 学校教育部門（小学校・幼稚園を含む、中学校、高等学校）、社会・職業・教養部門  
2・参加資格

日本の製作者作成のもので、平成 12 年 6 月 1 日～平成 13 年 5 月 31 日までに完成し、一般に市販されるもので、上映時間が 1 時間以内（映画、ビデオ）の作品。

#### 3・参加本数

映画 = 1 社 12 本まで。ビデオ = 1 社 12 本まで。ただし、各部門における参加本数はそれぞれ 3 本以内。CD-ROM = 5 本まで。シリーズの参加は認めない。

#### 4・賞

最優秀作品賞（文部科学大臣賞、日本視聴覚教育協会会長賞）、優秀作品賞（日本視聴覚教育協会会長賞）

#### 5・申込締切

5 月 31 日までに、所定の申込

書と参加作品を日本視聴覚教育協会事務局まで申し込むこと。

#### 6・問い合わせ

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-17-1 視聴覚ビル  
（財）日本視聴覚教育協会 電話 03-3591-2186

## AV 情報

### ■インテル—教員向け情報教育プログラムを無償で提供

米国大手半導体メーカーのインテル（株）は、小・中・高等学校の教員向け情報教育プログラム（Teach to the Future）を開発し、4 月より全国 40 か所で展開を開始した。

このプログラムは授業に使えるよう各自の授業計画に沿った学習プランを作成し、インターネットの検索方法、プレゼンテーション作成ソフトを使った資

## ブックレビュー



## 「総合的な学習の時間の理論と実践～情報編～」

山極隆監修・岡本敏雄編著

実教出版 2000年9月刊

A5判 227頁 2,000円(税別)

「総合的な学習の時間」の完全実施を間近に控え、また、試行的な実践が各地で行われるなかで、実践的な課題も実感されるようになってきている。

本書は、理論編と実践編で構成されているが、理論編に3分の2近くのページ数を費やしている。すなわち、現在、実践を通して捉えられてきているさまざまな疑問や課題についてどう考えていくか、その理論的な基礎を提供することが考えられている。

タイトルに「情報編」とあるように、情報教育の視座から「総合的な学習の時間」を検討しているが、問題として捉えている範囲は広く深い。

学習観、カリキュラム、情報教育、学習環境としての情報ネットワーク、学力、評価、教師

の役割等の問題が、12章からなる理論編の中で検討されている。理論的な追求とともに、実践の現実的な可能性について常に意識されているのも本書の特徴である。

実践編については、小学校と中学校の事例が2例ずつ、高等学校の事例が3例紹介されている。実践内容の具体的な紹介とともに、学校教育と社会、学習環境、学習方法、情報教育等について考察されている。

「総合的な学習の時間」をどう捉えていくか、どう育てていくかということは、これからの我が国の学校教育に大きく関わっていくことである。

確かな意味を構築しながら、一つ一つの実践が行われることの必要性を痛感した。

(土橋 永一)

料作成、Webページの作成などを学ぶもので、1単位3時間で12単位、計36時間から成る。

同プログラムは、すでにアメリカやインドなど、各国で実施されており、2002年末までに全世界で40万人、日本では2000人の教員を対象に、実施される予定。詳細は<http://www.intel.co.jp/jp/education/>を参照。

問い合わせ

インテル(株)教育プログラム推進部 電話03-5223-9100

■映画テレビ技術・Digital Production 2001

映画・放送・スタジオ機材と次世代映像制作システムを集中的に展示・紹介する標記展示会は、(社)日本映画テレビ技術協会・(社)日本能率協会の主催により5月16日(水)～18日(金)、東京・有明のビッグサイトで開催される。「映像フ

ォーラム」「ノミの市」「デジタルアニメーションセミナー」「映画カメラみれる!さわれる!」など多彩な行事も同時開催予定。

1・入場料

1,000円(Webサイトで事前入場登録すると無料)

2・問い合わせ・登録

(社)日本能率協会

電話03-3434-1391

<http://www.jma.or.jp/dp/>

## 研究会情報

■NIME「教材研究セミナー—教育用マルチメディア・ソフトの最新線—」開催

メディア教育開発センター(NIME)では、大学等の授業で用いることのできるすぐれたマルチメディア教材についての最新の状況を知り、授業改善に生かすことのできる視点を得るこ

とをめざすセミナーを同センターにおいて開催する。

開発者の立場からの現状把握、開発プロセス等についての情報を提供するとともに、いくつかの教材例のデモンストレーションを行い、教材の特性、制作意図について解説する。また、参加者には、特定の教材を体験し、関連ウェブ・サイトを探索する機会を提供する。大学等においてメディアを用いた授業改善に関心を有し、あるいは、学内で教職員の研修等にかかわる高等教育関係者が対象。

1・定員 20名(先着順)

2・日時 6月8日(金)

13:30～16:30

3・講師 萩野正昭氏(ボイジャー代表取締役)/佐賀啓男氏(メディア教育開発センター教授)/田口真奈(メディア教育開発センター助手)

**エル・ネット**  
5月放送予定

各番組は、エル・ネットを利用し、全国1600か所の受信施設（公民館・図書館・学校・生涯学習センターなど）に放送されている。

エル・ネット「オープンカレッジ」

5頁参照

子ども放送局 第2・4土曜日

■12日「将棋」

10:30 夢スタジオ1030  
将棋のルールの説明や将棋の不思議について将棋のプロから話を聞く。

12:00 輝く子どもたち  
将棋で有名な山形県天童市で将棋教室に通う子どもたちを紹介する。

12:30 子どもとしゃかん  
「写真に関する本」

12:45 THE MAKING  
今回は「おもちゃ」ができるまでを紹介する。

13:00 研究室におじゃまします  
「海草」を研究している研究室を訪問する。

13:30 チャレンジ教室  
おもしろくふう工作教室

■26日「スポーツ」

10:30 夢スタジオ1030  
あこがれのスポーツ選手がやってくる。どんな種類の選手が登場するかは、まだヒ・ミ・ツ!!

12:00 輝く子どもたち  
相撲に打ち込む兄弟力

士を紹介する。

12:30 子どもとしゃかん  
「スポーツに関する本」

12:45 THE MAKING  
「Tシャツ」ができるまでを紹介する。

13:00 中はどうなってるの?  
「CDプレーヤー」を分解する。

13:30 チャレンジ教室  
科学実験教室や工作教室、音楽教室を紹介。

生中継の番組では、質問・意見をファックス、電子メールで募集中!  
FAX 03-5790-8154  
<http://www.kodomo.nyc.go.jp>  
問い合わせ  
国立オリンピック記念青少年総合センター 子ども放送局係  
電話 03-3467-1600

4・参加費 無料

5・参加申込

〒261-0014 千葉県美浜区若葉2-12 メディア教育開発センターネットワーク課研修企画係 鈴木または山田 電話043-298-3107 <http://www.nime.ac.jp/saga/kenshu/seminar.html>

■日本教育工学会「2001年度シンポジウム」を開催

日本教育工学会では、「21世紀の教育に寄与できる教育工学研究を目指して」をテーマに、6月9日（土）東京工業大学において次の要領で標記シンポジウムを開催する。

1・日時

6月9日（土）10時～17時

2・会場

東京工業大学・百年記念館3階フェライト会議室（東京都目黒区大岡山2-12-1）

3・内容

パネルディスカッション（午前10時より）「21世紀の教育工学の研究方法論と後継者養成を考える」/シンポジウム（午後2時より）「E-learningによる教育システムの改革」

4・参加料 無料（資料代1,000円）

5・問い合わせ

日本教育工学会事務局

電話03-5251-2133

<http://www.japet.or.jp/jet/index.html>

**短 信**

東京工業大学教授の清水康敬氏は3月で退官し、4月より国立教育政策研究所教育研究情報センター長に就任した（メディア教育開発センター教授併任）。

（財）マルチメディアコンテンツ振興協会（MMCA）と（財）新映像産業推進センター（HVC）は、4月1日に合併し、（財）デジタ

ルコンテンツ協会（略称DCAJ、会長・出井伸之氏）として再発足した。これは、両団体を統合して、デジタルコンテンツの制作、流通を推進するナショナルセンターを設立するというもの。

新住所は、〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-6 秀和紀尾井町パークビル8階 電話03-3512-3900

**お詫び**

本誌4月号17頁の「文部科学省選定・特選」の記事中「学び交流そして喜び」と「大学から明日が見える」のサブタイトルが入れ代わっていたことをお詫びして訂正いたします。

正しくは「学び交流そして喜び 住民参画と公民館活動」と「大学から明日が見える 開かれた大学の姿」です。